



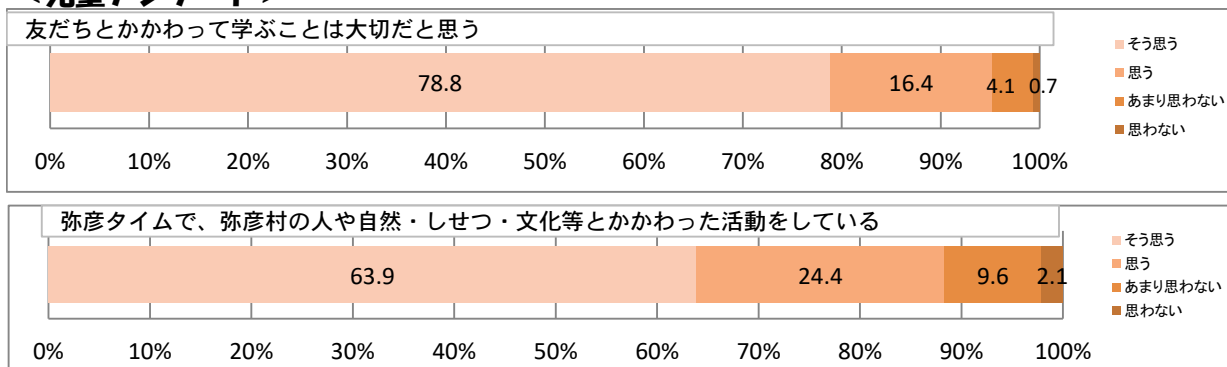
令和元年度 前期学校評価について

本年度の弥彦小学校の前期教育活動について、グランドデザインにお示した分野(教育目標・学びプロジェクト・思いやりプロジェクト・元気プロジェクト・根っこプロジェクト)を振り返り、成果と課題、改善策等をお知らせします。

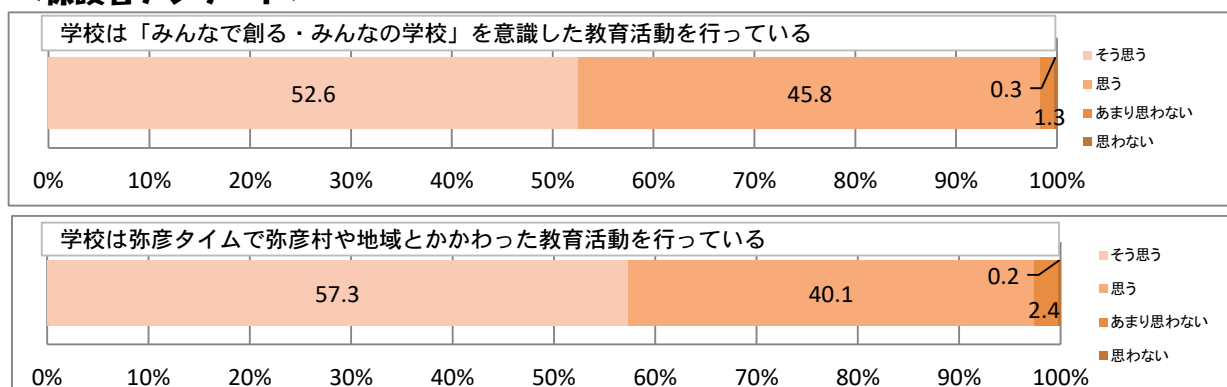
保護者の皆様には、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

教育目標「心身ともに健康で、主体的・創造的に生きる児童の育成」
目指す学校像「みんなで創る・みんなの学校」

<児童アンケート>



<保護者アンケート>



各項目で、肯定的評価が高い割合になりました。また、保護者アンケートの「学校便り、学年学級便り等を通じて教育活動や子どもの様子を分かりやすく伝えている」では95.3%、「授業参観や懇談会、PTA行事、教育相談等、教職員と保護者が話し合う機会がある」では93.0%の肯定的評価を得ました。限られた時間の中ではありますが、保護者の皆様とつながる体制を今後も継続していきます。

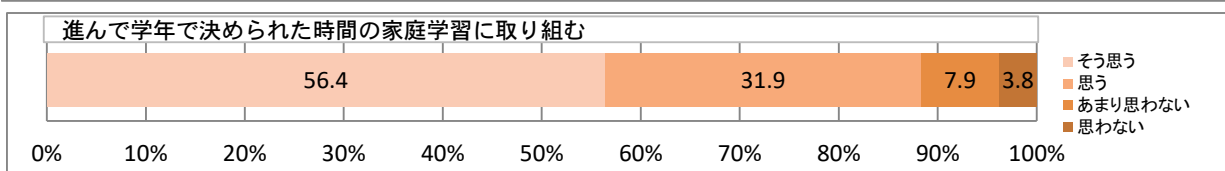
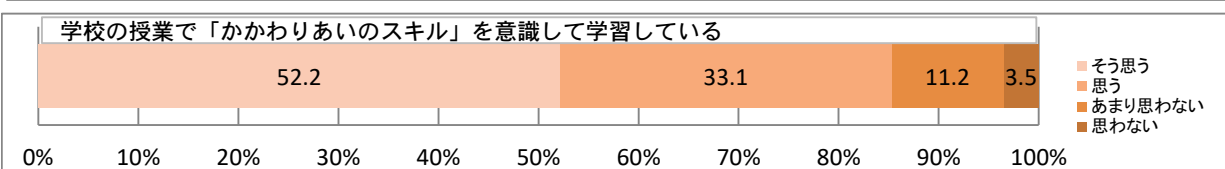
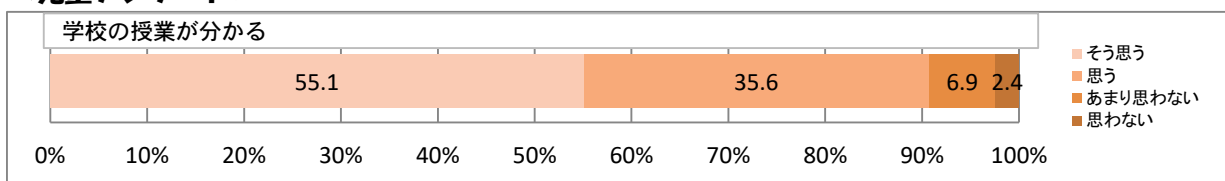
地域とかかわる取り組みについては、児童アンケートでは88.3%、保護者アンケートでは97.4%の肯定的評価になりました。特に保護者アンケートにおいては、昨年に比べ約6ポイントも上昇していることから、子どもの充実した学習が各家庭にも実感として浸透していることがうかがえます。今後も保護者の皆様と手を取り合い、子どもの主体性・社会性を育成するために、学習や様々な場面で地域とのかかわりを意識した活動を行っていきます。

学びプロジェクト

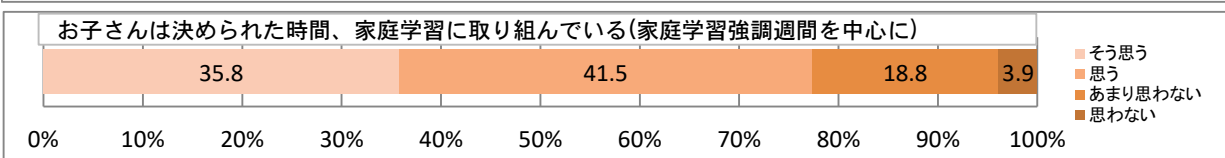
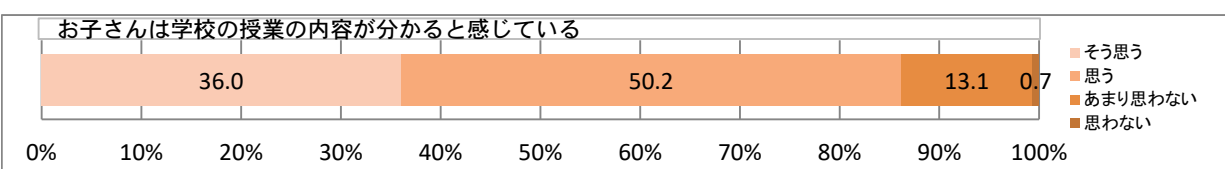
目指す子ども「仲間とともに課題を解決する子」

<かかわり合う力の育成・考えをつくる力の育成>

<児童アンケート>



<保護者アンケート>



児童アンケートでは、「授業が分かる」と感じている子どもは、昨年度と同様に90%を超えました。また、友達とかかわって学ぶことの大切さを感じている子どもも95%と大変高かったです。弥彦小学校では、様々な工夫をし、かかわって学ぶ学習をしています。その中で、自分にはない考えを知ることができたり、自分の考えが深まったりする経験をすることができた成果だと考えます。こうした経験をもっと積めるよう、「かかわりのスキル」を使いこなし、「友達の考えと比較しながら自分の考えをつくっていく力」を身に付けさせていきたいと思えます。

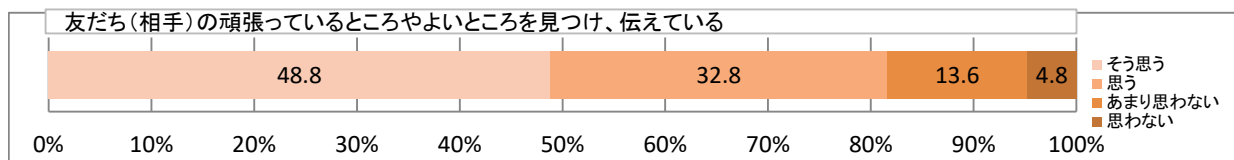
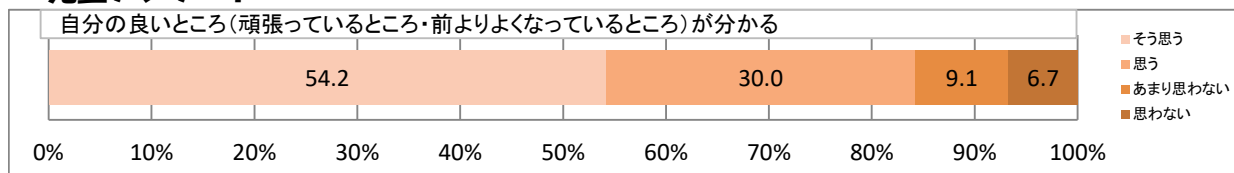
家庭学習時間の結果を見ると、子どもと保護者の評価に差が見られます。家庭学習強調週間の学年別の結果を見てみると、「学年×10分」を達成できたのは1年生と2年生だけ(ほぼ100%)であり、3年生から6年生の達成率は70%でした(昨年度は81%)。家庭学習強調週間であっても、70%というのは低い結果と言わざるを得ません。「やっていると思っているけれど、実際はそうではない」という子どもたちもいるようです。また4月に行ったNRT(標準学力検査)の結果を見ると、学校全体の結果は全国平均を下回る結果となりました。NRT(標準学力検査)は、基礎的・基本的な学力が身に付いているかどうかを計るものです。基礎・基本の定着に課題があることが分かります。

これから生きる子どもたちにとって、「他者とかかわって考えをつくる力」はとても重要です。しかし、基礎的・基本的な学力がないと、その力は生かされません。その両方を育ていけるよう、①学習規律の定着とあたたかいクラス作り、②学びを深めるための児童同士のかかわり合いの設定、③自分の考えをつくる力を育てる指導の工夫、④ICTを活用した学習、⑤支援講師による個別指導の充実等を継続して実施していきます。

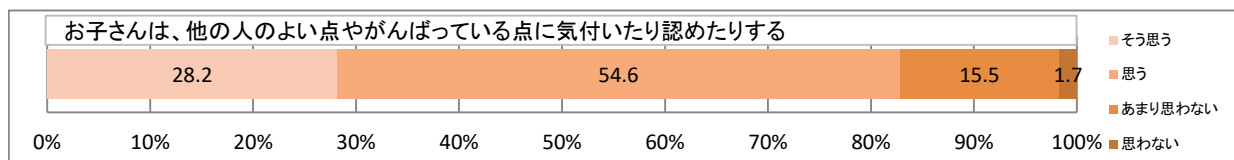
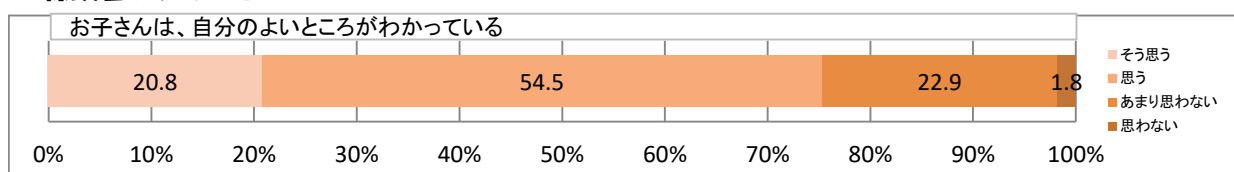
保護者の皆様からは、学習用具の準備の確認・家庭学習カードのチェック等にご協力いただきありがとうございます。家庭での学習時間の確保、学習への励まし・確認が、お子さんの学力の向上に繋がっていきます。今後も引き続きご協力をお願いします。

思いやりプロジェクト 目指す子ども「自分が好きな子 友だちも好きな子」 <異学年交流の充実・認めあう力の育成>

<児童アンケート>



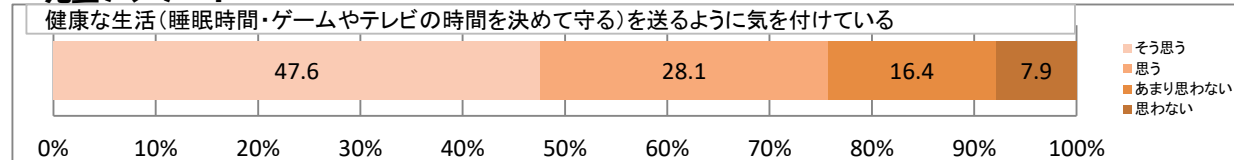
<保護者アンケート>



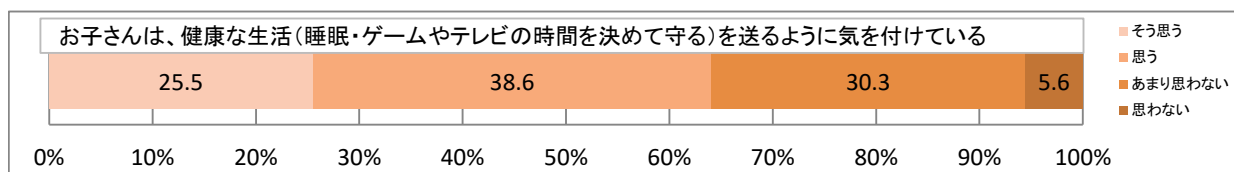
昨年同様に、80%以上の子どもが、自分のよいところが分かったり、友達のよいところを伝えたりしていると答えています。特に「お子さんは、他の人の良い点やがんばっている点に気付いたり認めたりしている」と回答して下さった保護者の方が、昨年度より2.4%増えています。これは、「かかわり合い」や「認め合い」を意識した学校での活動がご家庭での話題にあがる機会が増え、保護者の方から見て、「子どもが仲間の良さに気付くようになった」と感じていただいたことが伺えます。これからも、①「いじめ見逃しスクール集会」で決めた各学級のスローガンの取組②自分や友達の頑張りの良さを確認し、認めたり認め合ったりする振り返り活動を充実していけるようにします。

元気プロジェクト 目指す子ども「しっかりと睡眠をとり、メディアコントロールができる子」 <規則正しい生活習慣の育成・健康教育や食育の充実>

<児童アンケート>



<保護者アンケート>



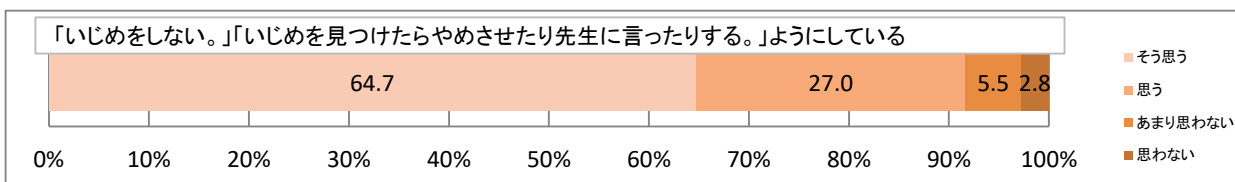
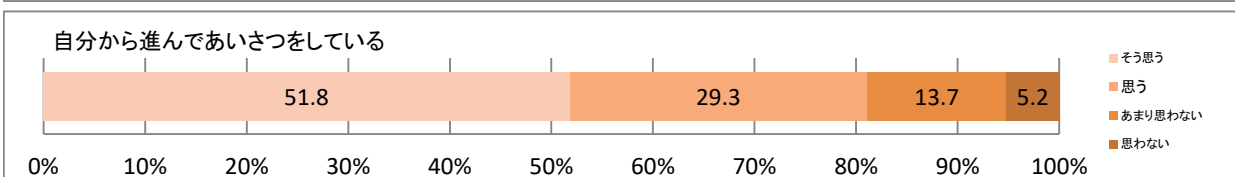
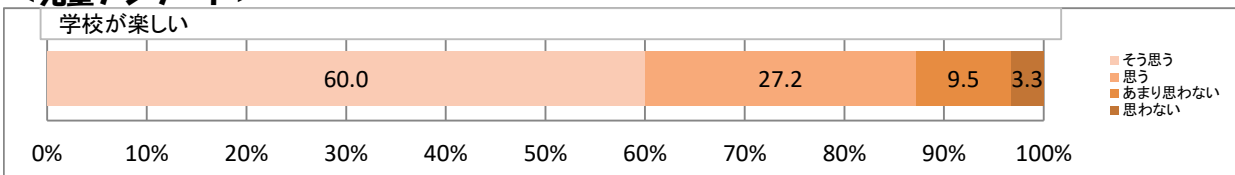
今年度から「元気アップ週間」で「我が家ルール」を決めて、実施しました。児童のアンケート結果は、昨年度より肯定的な数値評価が高まりました。元気アップ週間の実施により、生活習慣に関心をもって取り組む子どもが増えてきたためと思われます。第1回の元気アップ週間の結果から、10月の元気アップ週間では、「設定した就寝時刻に寝る・メディア利用時間を2時間以内にする」ことに焦点を当て、学年の実態に応じた取組を行いました。今後も「就寝時間」と「メディアコントロール」に焦点をあてて、「我が家ルール」を決めて取り組んでください。ご協力をお願いいたします。

根っこプロジェクト

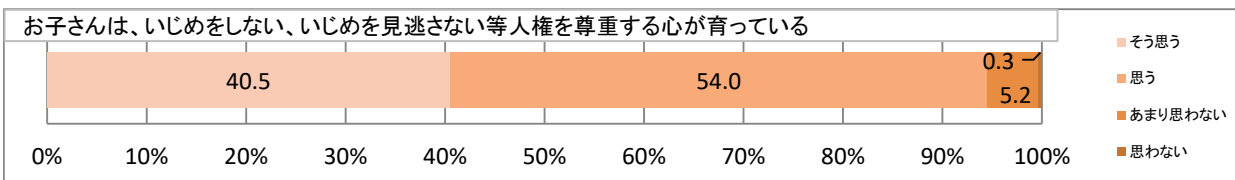
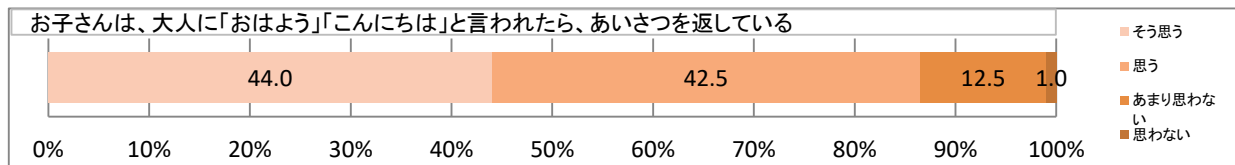
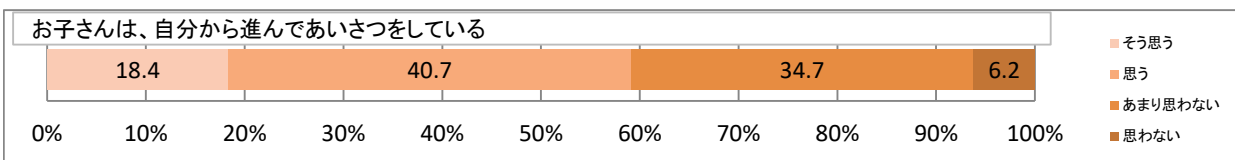
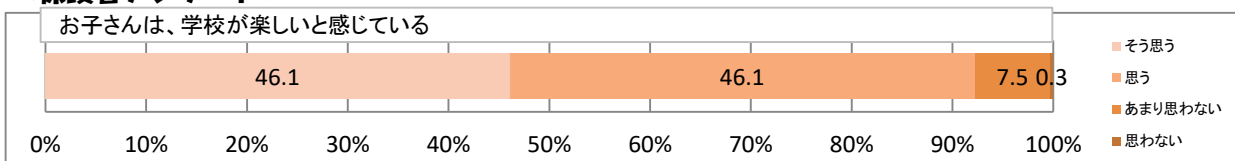
目指す子ども「誰にでもあいさつをする子・いじめをしない、させない子」

<あいさつを重点とした基本的生活習慣の確立・いじめの未然防止と早期発見・不登校対策>

<児童アンケート>



<保護者アンケート>



児童・保護者とも、「学校が楽しい」と感じていると肯定的に評価した割合が高い数値を示しています。学校生活では、友達や学級の仲間と仲良く過ごしている様子が見られます。日々の学級活動の一環として人間関係をよりよくするための取組を実施しています。例えば、友達のよさを見つけて褒め合ったり、週に1回みんなで遊ぶ日を設けたりする活動です。その成果がでているためか、教室で楽しそうに話したり、体育館などで元気に遊んだりする子どもたちの姿が随所に見られるようになってきました。「一人一人を大切にする姿勢」を今後も持ち続け、学習面でのつまずきや人間関係の悩み等について、保護者の皆様との連携を図り、個に応じた細やかな対応を全校体制で行っていきます。

根っこプロジェクトでは、今年度で3年目になる「こころの集い」という全校集会を行っています。挨拶や生活目標、いじめ防止等、全校で重点的に取り組んでいる項目についてみんなで考える時間を設けています。全校で一斉に活動することで、「みんなで解決する」という意識が育ちつつあります。例えば、挨拶です。本年度も、「挨拶ボランティア」として、朝、自発的に、児童玄関付近で元気な挨拶をする活動を実施しています。1学期のアンケートの結果から「あいさつは返せるが自分からは言いにくい。」という実態が明らかになりました。そこで、9月は挨拶の強調月間として取り組み、「挨拶ボランティア」に多くの子どもが参加しました。元気な挨拶が毎日飛び交うようになってきました。

いじめの未然防止・不登校対策にむけては、本年度も、計画的に、学校生活アンケートや心の健康チェック・教育相談・Q-Uアンケート等を実施し、児童理解を進めています。道徳・特別活動等で「いじめをしない・させない・見逃さない」心を育てる場も計画的に設けています。

第一回保護者アンケートに対する学校の回答

7月に実施いたしました保護者アンケートに、ご意見・ご質問・ご要望をお寄せいただき誠にありがとうございました。

ご意見・ご質問・ご要望の中で、学校全体にかかわる内容について、次の通り回答いたします。今後とも当校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、ご要望以外に、励ましのご意見・ご感想も多数いただきありがとうございました。これからも、お子さんの健やかな成長のため、保護者の皆様とともに、教育活動に取り組みたいと思います。アンケートをお願いする時(年2回)以外でも、遠慮なくお話をお聞かせください。特に、お子さんに関わること(学習・生活・安全・人間関係等)は、アンケートの時期を待たずに、すぐにご連絡いただけるとありがたいです。よろしくお願い申し上げます。

Q1

授業参観とPTA行事を同じ月にできればしないほしい。仕事の休みがとりづらいため。

A1

年間行事予定について、今後の参考にさせていただきます。

Q2

夏休みのプール開放を中止してほしい。監視当番になったとき、万が一子ども達に何かあった時、責任がとれないです。救急法をたった1回ならただけでおぼれたりした子どもを助けられるとは思えない。

A2

プール開放については、今年度PTA総会での結果を受けて実施しております。今年度の実施状況は実施予定回数10回のうち、実施回数は3回(実施率33.3%)でした。中止の理由としては、荒天のためが1回、高温のためが6回となります。また、参加延べ人数は92名でした。今年度の実績を踏まえ、次年度のPTA三役に引き継ぎます。

Q3

- ・ゲームの時間がなかなか守れない。仕事で遅くなるので注意しにくい。
- ・メディアの使用時間が多く寝る時間が遅くなっている。使用時間のルールを決めやりすぎを防ぎたい。
- ・先日の授業参観でネットの講習はとても良い。家ではなかなか伝えづらい内容なので。

A3

元気プロジェクトでも触れていますが、児童のメディア利用については保護者のご協力をいただきながら、メディアとの上手な付き合い方について指導を続けているところです。アンケートの回答にもあったように、今後は親子でメディアについて考える機会も様々な場面で取り入れていきたいと考えています。

Q4

村から放送のアナウンスが流れているが、イマイチ聞こえない。吉田小の近辺では、ボランティアの人達が何人か立っているのを見かけた。

A4

放送アナウンスは、弥彦村が行っているものであり、学校は村にアナウンスをする日の児童の下校情報を提供しています。学校ではそのようなご意見があったことについては、弥彦村に情報提供をさせていただきます。なお、村でも緑のジャンパーを着たセーフティスタッフの方々がボランティアで通学路に立っていただいています。

Q5

- ・運動会の応援時、スタンド(下の方の席)で日傘を差している人がいた。危ないし、上の席からは傘で見えなくなるので、控えてほしい。
- ・今年度の運動会は終了時刻が大幅に遅れて残念だった。早まるのはいいと思うが、時間通りに進めるのは必須だと思う。さらに、まだ終わっていないにもかかわらず、市役所行きのバスが終わるのも納得できない。来年度改善されていることに期待する。

A5

運動会会場や、進行、バスの運行などについて、いただいた多くのご意見は、来年度の運動会の計画に反映させていただきたいと思います。

Q6

- ・学年懇談会で、親同士で話す時間が長く、先生からクラスの様子や子ども達の姿など聞くことができず、終わった後に普段の様子や参考になる子どもの姿など聞きたかった。
- ・学年懇談会では保護者と先生が話し合う機会になると良いと思うが、保護者同士でグループにされ、話し合う→しゃべって終わり、みたいなかんじが少し物足りなかった。

A6

懇談会での話の持ち方については、学年・学級集団の学習・生活全般についてや保護者の方々と学校職員間での情報交換が主になるかと思います。今後担任と学年の役員さんなどで懇談会の持ち方を協議しながら進めていきます。

Q7

- ・自主学習の進め方が、今までと大分違う。学校として方針があるなら説明してほしい。説明がないまま変わっているのでもこちらも対応できない。
- ・自主学習で何をして良いのかわからないようだ。学校で自主学習のテーマを決めてもらうとありがたい。
- ・課題は毎日忘れずにやるが、自主学習が定着していない。学校でも取り組みがある、動機付けをしていただけたらありがたい。
- ・宿題に対する姿勢が最近ネガティブになっている。宿題に対する評価や振り返りが学校でもあると興味を持って取り組めると思う。

A7

学年の発達段階や、児童の実態を考慮しながら、家庭学習の行い方、内容、宿題と自主学習の比率などを学年内で検討し、実施しています。また、折に触れてお便りなどで家庭学習(やり方・内容・宿題と自主学習の比率など)について説明させていただいております。そのうえで、お子さんの家庭学習についてご要望等がある場合は、個別に相談させていただきたいと思いますので、連絡帳などでお知らせいただけるか、個人懇談等でお話を聞くことができればと考えます。お聞きした内容をもとに、学校ではお子さんが安心して家庭学習に臨めるように努めます。今後、小中で連携した家庭学習の方法(スタンダード)の確立を図っていきます。

Q8

- ・「早寝、早起き、朝ご飯、あいさつ、いのち」元気な身体と元気な心あってこそその学校生活。シンプルながら一番大切だと思う。人の言葉や行動が、相手の人生を変えることもあるので、周りを思いやり、理解できる子になってほしい。縦割りで上級生の優しさに触れ嬉しそうにしている。今年の学校全体の雰囲気はいいと感じている。
- ・元気アップ週間やマイ弁当デーは、親にも健康の意識付けができるのでとてもよいと思う。
- ・体力づくりに力を！

A8

弥彦小学校は50年前から健康教育について力を入れてきました。「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉がありますが、子どもの健やかな心身の成長が図れるよう、今後も元気プロジェクトを中心に活動を継続していきます。

Q9

タブレット端末を使った授業を積極的に進めて頂けたらと思う。それだけで子どもはおもしろみを感じると思うし、理解できていない事を明確に理解できると思う。

A9

タブレット端末は現在教育活動の中で積極的に活用されています。また、教職員も優れた情報機器を効率的に活用すべく研修を深めています。今後も子どもが興味を持って学習活動に取り組むことができるように、情報活用力もつけていきます。